



親子の物語が、そしてひとりのコーダの心の軌跡が、点描のように紡がれていく……。監督は、本作が9年ぶりの長編作品となる、『そのみにて光輝く』『きみはいい子』の眞美保。作家・五十嵐大氏の自伝的エッセイを原作に、脚本は『正欲』の港岳彦。吉沢亮が、きこえる世界”と”きこえない世界”を行き来しながら生きる主人公を体現、自身の居場所を見出し、いく若者の心を繊細に演じた。母・明子役には、ろう者俳優として活躍する忍足亜希子。

やがて母への想いが観る者の胸にも静かに温かく満ちていく、心に響く映画が誕生した。

*「コーダ」きこえない、またはきこえないくらい視を持つ聴者の子供

母と息子、切なくも心に響く家族の物語

Story

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、“大”と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていたのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大に

としては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持って余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが……。



ウェルとばた映画上映会

令和8年 5月23日(土) 戸畑市民会館 中ホール
(戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた3階)

①午前 10:30~ ②午後 14:00~ 日本語字幕付き

※ 開場は各回30分前・上映時間105分 【鑑賞券 1,000円】

主催：社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
協力：特定非営利活動法人 北九州市聴覚障害者協会
問合せ：ウェルとばた総合案内 TEL 871-7200

ウェルとばたホームページ



※駐車場は有料です。公共交通機関をご利用ください。